

証券コード：2220



株主のみなさまへ

第59期 株主通信

中間 2015年4月1日～2015年9月30日



亀田製菓株式会社



代表取締役会長 CEO 田中 通泰 代表取締役社長 COO 佐藤 勇

代表取締役会長 CEO

田中 通泰 (Michiyasu Tanaka)

[略 歴]

- 1968年 4月 株式会社日本長期信用銀行 (現 株式会社新生銀行) 入行
- 1998年 10月 亀田製菓株式会社入社
- 1999年 6月 取締役就任
ロジスティクス本部副本部長
- 2003年 7月 取締役専務執行役員
経営統括本部長
- 2006年 6月 代表取締役社長就任
- 2015年 6月 代表取締役会長 CEO 就任 (現任)

代表取締役社長 COO

佐藤 勇 (Isamu Sato)

[略 歴]

- 1976年 3月 亀田製菓株式会社入社
- 1998年 2月 HAIHA-KAMEDA JOINT VENTURE CO., LTD. (ベトナム) 取締役社長
- 2007年 6月 取締役就任
常務執行役員経営統括本部長
- 2012年 6月 代表取締役副社長就任
- 2015年 6月 代表取締役社長 COO 就任 (現任)

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

2015年度 上半期について

2015年度上半期は、売上高が454億円(前年同期比1.5%増)、営業利益が10億円(同32.8%増)と、前年同期比増収増益となりました。この結果は、主に3つの成果によるものです。

1つめは、国内米菓事業です。主力4ブランドである「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のまがりせんべい」「手塩屋」を中心に、積極的な販売活動を展開するとともに、「揚一番」「ハイハイン」「ぷっくら焼き餅」を育成ブランドと位置付け、店頭での配荷拡大に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。



さらに、連結子会社の利益改善が増益を牽引しました。2つめは、海外事業における北米及びアジア市場への販売拡大です。特に北米においては、健康志向の高まりを背景に、グルテン・フリーやオーガニックなどの商品が好調に推移しました。

3つめは、当社が保有するコメ由来の「植物性乳酸菌」や「低たんぱく質米飯」などの健康機能関連事業の取り組みを強化したことです。特に「植物性乳酸菌」の素材販売が堅調に推移しました。

2015年度 目標達成に向けて

2015年度は新中期経営計画初年度です。3年後の2017年度目標は、売上高は1,080億円、営業利益率7.0%です。

2015年度は、目標売上高980億円、営業利益50億円(営業利益率5.1%)の達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

2015-2017 中期経営計画について

亀田製菓グループ“ミッション・ビジョン”策定

当社は、2015年度からの新中期経営計画を策定しました。

この中期経営計画策定に伴い、中期経営計画ビジョンである「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けて、目指す姿・方向性を改めて明示し、国内外のグループ全員が一丸となってさらなる飛躍を目指すために、「亀田製菓グループ“ミッション・ビジョン”」を策定しました。

このミッション・ビジョンのもと、米菓で培った技術・知見を競争力の源泉として、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

亀田製菓グループ中期経営計画（2015-2017）

2015年度からの3年間は、中期経営計画ビジョンである「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた道筋を盤石なものとする重要期間と位置付けております。

この3年間は、海外事業と新規事業を中心とした「成長の加速」、米菓事業のブランド集約及び原価改善などによる「構造改革」、そしてこれらの取り組みを支える「経営基盤の強化」の3つを戦略の柱とし、厳しさが増す経営環境を乗り越え、さらなる発展を目指してまいります。

(注) 中期経営計画の内容の詳細は当社ウェブサイト (<http://www.kamedaseika.co.jp/>) に掲載しております。

亀田製菓グループの目指す姿

1. 成長の加速

- グローバル展開による飛躍的成長
- コア技術展開による高付加価値商品の開発と新市場の開拓

2. 構造改革

- 国内米菓事業の構造改革
- 事業ポートフォリオの最適化

3. 経営基盤の強化

- グローバル人材育成の加速
- グローバル化に対応したガバナンス体制の進化
- お米に係る基礎研究強化によるイノベーション創出能力の向上

亀田製菓グループ“ミッション・ビジョン”

ビジョン

グローバル・フード・カンパニーの具体像



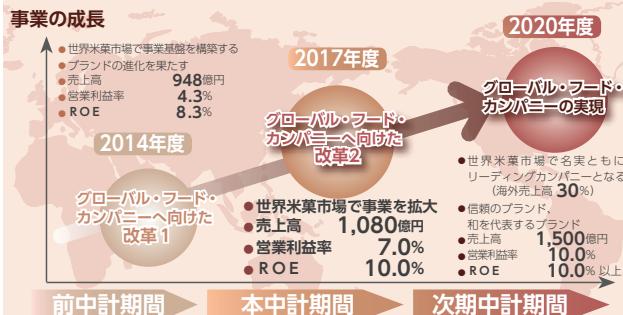
- 米菓で培った伝統の技を革新し、各地の食文化と調和することを通じて、世界の人々に愛されるブランドを目指します

ミッション

グローバル・フード・カンパニーとして果たすべき使命

- 私たちは、自然の恵みを活かし、「健康」「おいしさ」「感動」を創造します
- 私たちは、世界の人々の生活に喜びと潤いをお届けし、より豊かな社会に貢献します

亀田製菓グループの目指す姿



	2014年度実績	2017年度目標	対2014年度差	年平均成長率
売上高 (百万円)	94,849	108,000	13,151	4.4%
営業利益 (百万円)	4,032	7,560	3,528	23.3%
営業利益率	4.3%	7.0%	2.7%	-
EBITDA* (百万円)	8,637	13,676	5,039	16.6%
EBITDAマージン	9.1%	12.7%	3.6%	-
ROE	8.3%	10.0%	1.7%	-

*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

設備投資額(百万円) (2015-2017累計)	28,000
-----------------------------	--------

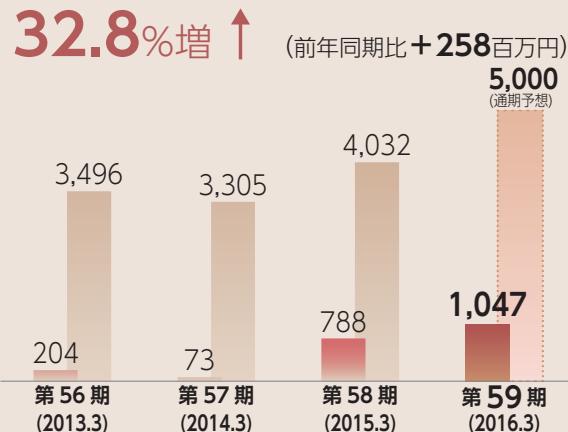
売上高

主力・育成ブランドの積極的な販売活動により、増収となりました。



営業利益

製造原価の低減に加え、連結子会社の利益改善が進んだことで増益となりました。



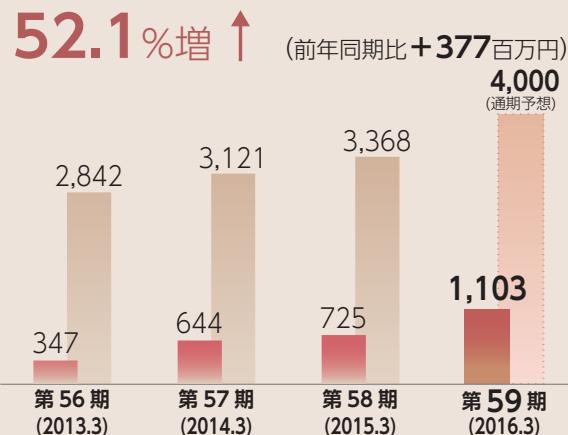
経常利益

営業利益の増加に加えて、持分法による投資利益の増加などにより、増益となりました。



親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益の増加に加えて、特別損失の減少と法人税率等の引き下げにより、増益となりました。



会社概要

2015年9月30日現在

- ◆ 商号 亀田製菓株式会社
- ◆ 本社所在地 〒950-0198
新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号
電話 (025) 382-2111 (代表)
- ◆ 設立 1957年8月26日
- ◆ 資本金 19億4,613万円
- ◆ 従業員数 1,596名
【ご参考】 連結 3,103名

役員

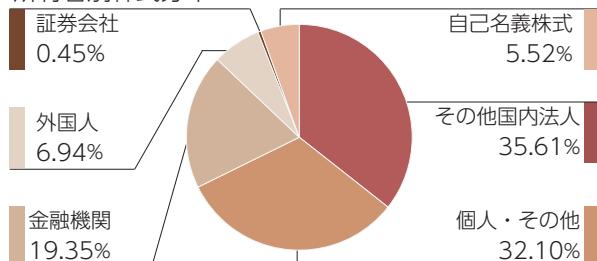
2015年9月30日現在

代表取締役会長 CEO	田中通泰	常勤監査役	荒木徹
代表取締役社長 COO	佐藤勇	常勤監査役	松澤三治
取締役	古泉直子	社外監査役	矢澤健一
社外取締役	坂本正元	社外監査役	湯原隆男
社外取締役	関誠夫		
社外取締役	堤殷		
社外取締役	前田仁		
会計監査人	有限责任監査法人トーマツ		

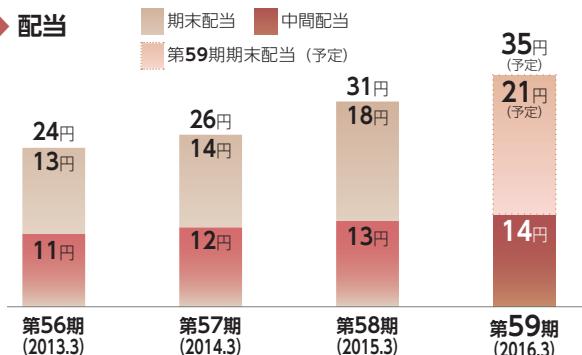
株式の状況

2015年9月30日現在

- ◆ 発行済株式の総数 **22,318,650 株**
- ◆ 株主数 **11,042 名**
- ◆ 所有者別株式分布



◆ 配当



株主優待制度

贈呈対象

毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主さまに、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

贈呈時期

12月中旬頃

※ 2015年度より、株主優待を年2回の贈呈から年1回の贈呈に変更しております。

贈呈基準

100~999株



当社製品1,000円相当の詰め合わせ

1,000株以上



当社製品3,000円相当の詰め合わせ

画像は詰め合わせ製品例です

「ハッピーターン」 新パウダーキャッチ製法でさらにとまらないおいしさに！

「ハッピーターン」は1976年に発売し、長い間ご愛顧いただいているロングセラーブランドです。お客さまにこれまで以上に満足していただくため、リニューアルを実施しました。

“ハッピーパウダー”をよりメリハリのある味に変更し、さらにパウダーがつきやすい“新パウダーキャッチ製法”※を採用することにより、飽きのこない濃いハッピーターンを楽しめるようになりました。

また、期間限定（2015年9月～2016年3月末）でまろやかで香り豊かな「ハッピーターン バターしょうゆ味」も発売しました。

※ 新パウダーキャッチ製法

※ イメージ

“ハッピーパウダー”をより多くキャッチできるように、「パウダーポケット」の溝をこれまでよりも大きくしました。



「たねバル」 ワインにぴったりな柿の種がさらにまろやかでコクのある味わいに！



「たねバル」は“一粒ずつつまんで食べたい！”という女性のリクエストにお応えした「亀田の柿の種」より少し大きいサイズの新しいタイプの柿の種です。2014年9月より「たねバル めんたいチーズ味」「たねバル 黒胡椒チーズ味」の2品を発売し、2015年7月に、さらにまろやかでコクのある味わいにリニューアルしました。また、期間限定（2015年9月～11月末）で、トマトの酸味と爽やかなバジルの香りにまろやかなチーズを加えることで、風味豊かな味わいに仕上げた「たねバル トマトバジルチーズ味」を発売しました。

「技のこだ割り」 シリーズに香ばしい風味とこく深い味わいの「ごま」が仲間入り！

2015年8月、堅めの歯ごたえと、荒く砕いた煎餅にしみ込んだ醤油の濃厚な味わいが特徴の「技のこだ割り」シリーズに、「ごま」が仲間入りしました。

「技のこだ割り ごま」は生地にごまを練り込み、ごまの香りを引き立てるため、絶妙な火加減で焼き上げるとともに、たまり醤油のみを使って甘めの味付けに仕上げています。



◆とよす株式会社

「かきたねポテト」を発売



クラフトビールフェア

2015年5月、当社の連結子会社であるとよす株式会社は、「かきたねキッチン」ブランドの新商品として「かきたねポテト」を発売しました。

8月には、阪神梅田本店で開催された「クラフトビールフェア」に3日間出店し、クラフトビールのつまみに「かきたねポテト」を、お楽しみいただきました。

◆尾西食品株式会社
横浜災害食グランプリ
「ごはん類部門」で第1位!

当社の連結子会社である尾西食品株式会社の「携帯おにぎり鮭・わかめ」が、2015年8月に開催された「横浜災害食グランプリ」の「ごはん類部門」でグランプリを獲得しました。

「携帯おにぎり」はお湯又は水をいれるだけで、おいしい三角形のおにぎりが出来上がる商品です。



◆イオンバランスおかゆ
日本災害食学会研究発表会

2015年7月に開催された日本災害食学会で、当社は「イオンバランスおかゆ」の有用性について研究発表しました。

当社は、災害時、特に大規模な避難所で流行りがちな小児やお年寄りの感染性胃腸炎に対する「イオンバランスおかゆ」の有用性を研究し、健康二次災害防止にお役立ちできるよう努めております。



◆Mary's Gone Crackers, Inc.
米国向けオーガニッククラッカーの新商品を発売



2015年3月、当社の連結子会社であるMary's Gone Crackers, Inc. は、米国向け新商品「THINS」(5種類)と「MINIS」(3種類)を発売しました。

Mary's Gone Crackers, Inc. は、グルテン・フリー&オーガニック菓子のトップメーカーとして、高い成長を実現しています。

新商品「THINS」は、玄米・キヌア・メスキート・発芽黒豆・発芽そば粉・アマランサスの6種類を、食感とおいしさにこだわってブレンドした雑穀菓子で、「MINIS」は、キヌアやチアシードなどの雑穀をブレンドし、お子さまに安心して食べていただける、栄養たっぷりのグラハムクラッカー*です。

この新商品は、米国での健康志向の高まりを受け、売上高は発売以来好調に推移しております。

* グラハム粉 (表皮・胚芽と胚乳を別々に挽いて混ぜた粉) を配合して作ったクラッカー

◆KAMEDA USA, INC.
米国向け新商品を発売

2015年5月、当社の連結子会社であるKAMEDA USA, INC. は、米国向け新商品米菓「MINI FROSTED RICE SNACKS」(3種類)と「RICE GOES CRISPY」(3種類)を発売しました。

KAMEDA USA, INC. では、2013年9月に米国向け柿の種「Kameda Crisps」をグルテン・フリー化し、米国での健康志向に対応してきました。新商品「MINI FROSTED RICE SNACKS」と「RICE GOES CRISPY」も、グルテン・フリーなどを特長としており、米国内の販路拡大に取り組んでおります。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	証券口座にて株式を管理されている株主さま	証券会社とのお取引がない株主さま(特別口座の場合)
定時株主総会	6月開催	郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)		電話お問い合わせ先
単元株式数	100株	お取引の証券会社になります。	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		お取扱窓口
公告の方法	電子公告 (公告アドレス: http://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html)	未払配当金のお支払	
証券コード	2220 (東証1部)		

特別口座の単元未満株式(1~99株)の買取について

買取請求は、お持ちの単元未満株式(1~99株)を当社へ売却することができる制度です。特別口座で買取請求を行う場合は、買取代金の振込口座などを記入した「単元未満株式買取請求取次依頼書」をご提出いただくこととなりますので、みずほ信託銀行証券代行部(0120-288-324)までお問い合わせください。

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

※ 詳しくは、同封のリーフレット「株式に関する『マイナンバー制度』のご案内」をご確認ください。



亀田製菓株式会社

〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号
電話 025-382-2111 (代表)
<http://www.kamedaseika.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。